

重要テーマ 3 積極的なコミュニケーションによる地域社会への貢献

当社の基本精神である「ありがとうの心」を形にするため、企業市民として、それぞれの地域社会が抱えるさまざまな課題を解決する活動を積極的に展開しています。

「安全・安心」な街づくり

「ALSOKあんしん教室®」

ALSOKグループでは、地域社会が抱える課題解決に向けた社会貢献活動として、守りのプロである社員を小学校に派遣し、防犯や救急救命について学んでもらう出前授業「ALSOKあんしん教室」を全国各地で行っています。活動開始から11年以上が経過し、これまでに延べ9,299校で39,962回実施、123.5万人以上の児童が参加しています。この取り組みにより、文部科学省による「青少年の体験活動推進企業表彰・審査委員会奨励賞」を2年連続で受賞しました(2014年度、2015年度)。



「ALSOKあんしん教室」の一コマ

地域社会の防犯・防災啓発活動

ALSOKでは、青色回転灯を装備した車両による巡回や、待機時間を利用して小学校の下校時間を中心にパトロールを実施するなど、グループを挙げて地域に密着した防犯活動を展開しています。また、高齢者や女性を標的とした犯罪が多発していることから、高齢者を狙った特殊詐欺などの傾向と対策について学ぶ訪問講座「ALSOKほっとライフ講座」や「ALSOK女性向け防犯セミナー」を実施し、高齢者や女性の安全安心な暮らしに貢献しています。

そのほかにも、インドネシアでの駅伝大会において、AEDの提供や使用方法のデモを行い、普及活動を行うなど、海外での活動も展開しています。

スポーツ活動の支援

運動選手の育成とスポーツ振興

当社は、スポーツを通じて社員相互の団結心向上を図り、社業の発展に努めています。現在は柔道やレスリングをはじめウエイトリフティング、陸上、射撃など10の運動部が活動しており、数多くのオリンピック日本代表選手、国際大会優勝者を輩出してわが国のスポーツ振興にも貢献しています。また、各支社・グループにおいても柔道やフットサル、バスケットボール、陸上競技等の指導を行い、子どもたちの健全な育成支援に積極的に取り組み、地域社会の発展にも寄与しています。



総警防護術の社内大会の様子

リオデジャネイロ2016オリンピックでの活躍

2016年のリオデジャネイロオリンピックには、当社の所属選手8名が日本代表として出場し、柔道で金メダル1個、レスリングで金メダル1個と銀メダル1個を獲得するなど、輝かしい成果を残しました。また、女子レスリングの伊調馨選手は、オリンピック4連覇を達成したことが国民に深い感動と勇気、社会に明るい希望を与えたと称され、国民栄誉賞を受賞しました。



国民栄誉賞を受賞した伊調馨選手

※ 当社所属選手が国民栄誉賞を受賞するのは、吉田沙保里選手(2015年12月まで在籍)に続き2人目



経営理念に基づく社会貢献活動

東日本大震災への継続的な支援

ALSOKグループの社員は、東日本大震災発生直後より被災地へ赴き、治安維持活動と被災者支援を行いました。現在も、地域復興マッチング「結いの場」(復興庁主催)等への参加や、復興支援住宅での防犯講座開催などを通じて、被災地の産業復興とコミュニティづくりを支援しています。2016年3月には、日本赤十字社が展開したキャンペーン「私たちは、忘れない」に賛同し、当社の全三輪バイクにステッカーを貼ることで、震災の風化を防ぐ活動を行いました。



キャンペーン用ステッカーを貼付したALSOK三輪バイク

「ALSOKありがとう運動」

本運動は、当社の基本精神の一つである「ありがとうの心」を体现することを目的に、1967年に創業者村井順によって開始されました。目的に賛同する当社およびグループ会社の役員・社員などの会費と寄託金で運営され、現金寄付・現物寄贈・災害義援金などの形で、社会福祉・災害救済支援などの活動を支援しています。なお、本運動は2016年4月に「一般財団法人ALSOKありがとう運動財団」に承継され、本財団は10月に公益財団法人に認定されました。



一般社団法人キリマンジャロの会の支援で開校した中学校で学ぶ女子生徒



教育・ボランティア活動への支援

職業体験プログラムの開催

当社は、企業と連携し社会貢献活動を行うフューチャーイノベーションフォーラムと共同で、小学校5、6年生を対象とした職業体験プログラムを毎年開催しています。4回目となる今回は、「人とITが融合した未来のセキュリティ」をテーマに、ウェアラブルデバイスを利用した未来の警備体験やドローンを活用した最新警備システムのデモなどを行いました。子どもたちは、さまざまな体験を通じて社会の安全安心を守る仕組みについて学びました。



ドローンの操作体験をする子どもたち

災害支援活動

当社では、「災害ボランティア活動支援制度」を制定し、参加する場合には特別休暇を付与するなど、社員のボランティア活動を支援しています。

2016年4月に発生した熊本地震においても、社員有志によるボランティア活動を実施しました。被災地では、災害ボランティアセンターに協力し、被災者住居の後片付けや避難所でのお手伝い(食事の準備・配膳、救援物資の配布など)、救援物資(衣料、飲料、食料、衛生用品など)の仕分けを行いました。

なお、ALSOKグループ社員の善意として、1,611万6,000円を寄付しました。ALSOKグループは、今後もさまざまな形で被災地および被災者の支援に取り組んでいきます。

